



物流やロジスティクス全般、あるいはサプライチェーンについて平易に解説したハウツー的入門書は多くあるものの、倉庫・配送センターの運営や設計についての教科書は、今までありそうでなかった。

著者はアメリカで著名な倉庫関連のコンサルタントとしての経験が長く、現地で日系物流企業に対してのコンサルティング活動も行っている。また、倉庫・配送センターのマネジャー向けニュースレターを長年発行している。これらの経験から、本書は実際に現場で倉庫や配送センターを管理する人々を対象に、どうやったら効率的な運営ができるかを分かりやすくするために、トヨタ生産方式に代表されるムダ取り、すなわち「リーン」コンセプトを基本哲学として解

説しているところに大きな特徴がある。

著者の「倉庫、配送センターの業務とは時間とスペースを効率的に活用することだ」という言葉に代表される「リーン思考」は、われわれ倉庫事業者にとって、今までの管理手法を体系立てて整理し、従業員を教育するに際して、非常に分かりやすいコンセプトである。ある意味、われわれがなんとなく分かっていた管理手法を、きちんとリーンコンセプトの下でまとめ上げてくれた教科書と言えるだろう。

保管・荷役の基本的な説明のみならず、倉庫で使う消耗品の管理、倉庫の建築、管理職のリーダーシップについての章があり、今までの物流の入門書にはない現場目線での内容となっている。倉庫・配送センターの基本を学ぶための社内研修用には恰好の教材であり、入社1、2年目の社員に対しても、先輩社員が解説をすることによって十分に活用できる。

筆者紹介

ケン・アッカーマン (Ken Ackerman) 氏は、長年にわたり米国の倉庫経営についての活発な活動で、倉庫・配送センターのカリスマコンサルタントとして有名。倉庫会社を経営し、その会社はエクセル社を経由して DHL の一部門になっている。クーパーズ&ライブランド (Coopers & Lybrand) のコンサルティング事業部門を経て 1981 年にアッカーマン社を設立。倉庫・配送センターのマネジャー向けニュースレターが建築、運営、人事など広範囲な視点から書かれ、すぐに役立つヒントの多さに読者マネジャーから絶大な人気を得ている。

訳者の樋口恵一氏 (川崎陸送株式会社取締役社長) は当協会会員、当協会研修副委員長を務め、訳書として『「事業継続」のためのサプライチェーン・マネジメント実践マニュアル』(ベティー・キルドウ著 プレジデント社) がある。

リーン・ウェアハウジング

定価 1,500 円 + 税 155 ページ

注: 本書はアマゾンのみで販売、10 冊以上の大口購入については出版元の (株) エル・スリー・ソリューションのホームページから申し込み <http://www.l3-solution.com/>